

令和2年度 一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	健康教育事業				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目				
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,436	6,632	595		1,076	4,961

【事業概要及び必要性又は目的】

生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を資することを目的に各種保健事業を実施する。

【事業の内容】

医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等による生活習慣病予防・健康増進に関する健康教育事業を実施する。

事業名	回数	内容
高齢者運動教室(まめまめクラブ)	336回(1回/2月)	56会場 介護、閉じこもり予防、交流
元気アップ教室	2期(12回/期)	器具を利用した筋力トレーニング
水中まめまめクラブ	4期(10回/期)	プールでの水中運動 2コース
ビヨンドミラクルアクア教室(旧アクアフィットネス)	4期(10回/期)	夜間開催
スクエアステップ教室	2期(5回/期)	マットを利用した筋力、認知機能トレーニング
健康さわやか歩キングの集い	1回/年	ウォーキングの普及
中学生生活習慣病予防教室	2回/年	岸中、溝中2年生 食生活改善・がん予防
ほうき体操講習会	5回	各保育所等

(事業費)

区分	予算額	内容
報償費	90千円	スクエアステップ教室、ほうき体操講師謝礼
需用費	87千円	各教室資料、まめまめクラブゲーム用具
委託料	6,455千円	まめまめクラブ、元気アップ教室、プール教室委託料
計	6,632千円	

【本年度の計画効果】

年間を通して健康教育事業を開催し、住民の健康増進・疾病予防・健康づくりの啓発を図る。

【予算措置(財源内訳)】

健康増進事業費補助金(県)	595千円	基準額の2/3
健康教育事業参加手数料	440千円	参加費
健康教育雑入	175千円	鳥大看護学生実習指導料等
後期高齢者医療特別対策補助金	461千円	水中まめまめ等75歳以上参加者分
一般財源	4,961千円	

令和2年度 一般会計予算

提出課 健康対策課
 (目) 3. 保健事業費
 (単位:千円)

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費

事業名	健康づくり推進事業				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目				
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,796	2,226	36			2,190

【事業概要及び必要性又は目的】
 健康づくり推進協議会、保健委員会、町内医療機関との意見交換会を開催し、町の健康づくりを推進する。また、健康フォーラムを開催し地域ぐるみでの健康意識を高める。

【事業の内容】

①健康づくり推進協議会

健康づくり推進協議会を組織し、健康課題や健康づくり政策を検討する。
 協議会委員 関係行政機関代表(1)、町内医療機関(4)、学識経験者(2)、学校・保健関係(6)
 開催回数 年1回(11月頃)
 内容 人口推移、医療費、各種保健事業等の実施状況、次年度の事業計画について協議

②保健委員会

各集落に保健委員を置き、住民健診のとりまとめや健康づくりに関する研修を行い、地域ぐるみの健康意識を高める。 集落 97集落 保健委員 155人

実施月	内容
6月	健康づくりに関する講演と住民健診についての説明
12月	健康づくりに関する講演(健康づくりフォーラムと同時開催)
2月	次年度事業計画、住民健診とりまとめのお願い

③町内医師との意見交換会

住民健診や予防接種及び健康づくり事業等を検討するため、町内6医療機関医師と協議する。
 開催回数 年2回(10月頃、3月頃)
 内容 人口推移、医療費、各種保健事業等の実施状況、次年度の事業計画について協議

④健康づくりフォーラム

住民を対象に健康や介護予防をテーマに各団体と連携して研修会も兼ねた健康づくりフォーラムを開催する。 開催回数 年1回(12月頃)
 実施日 令和2年12月19日(土) (予定)
 内容 テーマ:認知症になっても安心して暮らせる町をめざして
 映画上映と監督の講演、連携団体の展示、ほっとカフェ ほか
 連携団体 高齢者教室、障がい者ボランティアの会、障がい老人を支える家族の会、精神障がい者家族の会、保健委員会、健康運動アドバイザー協議会 ほか

(事業費)

区分	予算額	内容
報償費	165千円	会議出席報償費、フォーラム講師謝礼
需用費	24千円	フォーラム展示・資料教材代
委託料	36千円	フォーラム託児・音響照明操作
使用料及び賃借料	237千円	フォーラム送迎バス代、映画DVD使用料
負担金補助及び交付金	1,764千円	町保健委員会交付金
計	2,226千円	

【本年度の計画効果】

健康づくりの目標が明確になり、地域ぐるみでの健康づくり及び健康増進が図れる。

【予算措置(財源内訳)】

健康増進事業費補助金(県) 36千円(基準額の1/3)
 一般財源 2,022千円

令和2年度 一般会計予算

提出課 健康対策課
 (目) 5. 介護保険事業費
 (単位:千円)

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

事業名	介護予防事業				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目				
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,334	4,494			1,507	2,987

【事業概要及び必要性又は目的】

高齢者を対象として、介護予防に関する講演会や運動器機能等の維持・向上を図るための教室を開催し、介護予防に関する知識の向上、実践による要介護状態への移行防止を図る。

【事業の内容】

(単位:千円)

事業項目	事業内容	事業費
出前型介護予防教室	地域における住民主体の高齢者の集いの場が、定期的で開催・運営できるよう支援するため、出前型の介護予防教室を実施する。【10回】	71
介護予防講演会	介護予防に関する講演会を「健康フォーラム」において実施する。【年1回】 ※予算は、「保健事業」「健康づくり推進事業」に計上	-
認知症簡易検査及び物忘れ相談会	住民健診等に出向いて認知症の簡易検査を行い、認知症のおそれや予防の必要な高齢者等は、専門医による「物忘れ相談会」を通じて、認知症予防教室や専門医療機関の受診等につなげる。 ・認知症の簡易検査【住民健診等の機会を通じ随意】 ・物忘れ相談会【3回】	330
はつらつ教室	認知症予防教室を実施し、頭の活性化訓練を行う。(委託) ・認知症予防教室(本教室) 1教室【週1回ペース4月間】 ・認知症予防教室(月2回) 5教室【月2回ペース年間】 ・認知症予防教室(月1回) 2教室【月1回ペース年間】	3,208
栄養改善・口腔機能教室	栄養改善や口腔機能向上に関する教室を開催する。【1回】	27
介護支援ボランティア養成研修	地域や介護保険施設等においてボランティア活動を行う「介護支援ボランティア」を養成するための研修を実施する。 【1講座5回コース】	35
シニアパワーアップ教室	運動器機能の維持改善を図るため、スポーツジムにおいてトレーニングマシン等を活用した短期集中の通所型介護予防教室を開催する。(委託) フィットネス&スタジオ・パル、岸本カーブス、みぞくちテラソを会場として、それぞれ1クールずつ【計3クール】	823
計		4,494

【本年度の計画効果】

介護予防に関する講演会や教室を開催することにより、介護予防に関する知識を向上、要介護状態への移行防止を図る。

【予算措置(財源内訳)】

南部箕蚊屋広域連合負担金 1,507 千円
 一般財源 2,987 千円